

令和元年度遠野市市税等収納対策プロジェクトの総括

1 市税等の収納状況

(1) 収納実績及び収納率

財政基盤の強化・安定と年々増加傾向にあった収入未済額の解消を目指し、市税等収納対策プロジェクトとして取組を行っている。令和元年度の収納状況は、次の表のとおりである。

収納実績は、調定額 5,761,928千円に対し、収入済額は 5,478,464千円、不納欠損額 10,763千円、収入未済額 272,701千円、合計収納率は 95.08%となり、現年度分の収納率は、第2次遠野市総合計画前期基本計画まちづくり指標に掲げた 97.51%を 0.02ポイント上回る 97.53%、滞納繰越分の収納率は、37.65%を大きく上回る48.68%となった。

前年度の調定額との比較では、現年度分で 208,871千円の減、滞納繰越分で 1,744千円の減、合計で 210,615千円の減となった。

同じく収納率の比較では、11の収入科目のうち4科目で合計が前年度を上回った。主なものは、国民健康保険税が1.15ポイント、下水道使用料等が 0.63ポイント、保育料が0.50ポイント上回った。

収入未済額の各科目の合計は 272,701千円となり、収納率の向上により前年度と比較して 9,912千円の減となった。内訳として、市税と国民健康保険税の収入未済額が全体の約6割を占めている。

令和元年度収納実績

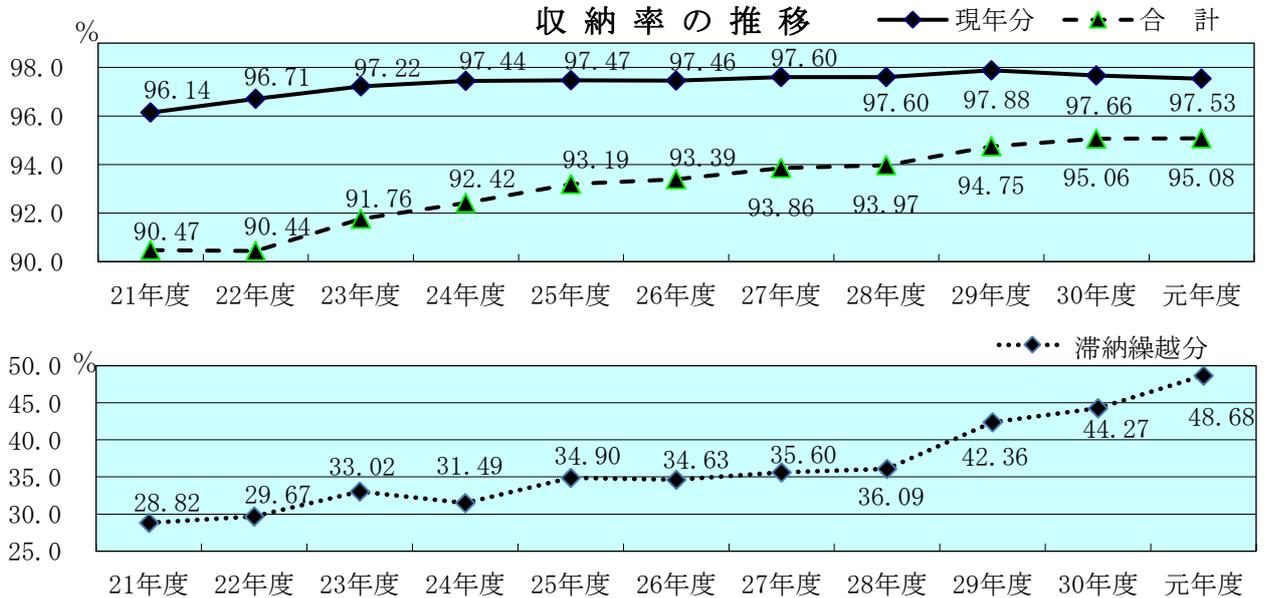
(単位：千円、%、pt)

収入科目	年度	令和元年度				平成30年度		収納率比較 (R1-H30)	
		調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収納率	収入未済額		
市税		2,870,886	2,776,183	4,807	89,896	96.70	88,859	96.88	△0.18
保育料		71,349	69,313	4	2,032	97.15	3,349	96.65	0.50
住宅使用料		100,850	84,929	0	15,921	84.21	16,813	84.13	0.08
奨学資金		44,165	36,372	0	7,793	82.35	7,710	84.65	△2.30
学校給食費		88,926	88,926	0	0	100.00	0	100.00	0.00
国民健康保険税		549,909	466,469	3,113	80,327	84.83	89,359	83.68	1.15
後期高齢者医療保険料		225,458	224,553	0	905	99.60	385	99.81	△0.21
介護保険料		631,435	622,764	2,654	6,017	98.63	6,260	98.67	△0.04
ケーブルテレビ使用料		355,397	355,123	66	208	99.92	290	99.92	0.00
農業集落排水 下水道事業		176,572	161,358	9	15,205	91.38	15,646	90.75	0.63
水道料 (企業会計3月末)		646,981	592,474	110	54,397	91.58	53,942	91.73	△0.15
合計 ①	現年度分	5,472,600	5,337,629	0	134,971	97.53	132,681	97.66	△0.13
	滞納繰越分	289,328	140,835	10,763	137,730	48.68	149,932	44.27	4.41
	計	5,761,928	5,478,464	10,763	272,701	95.08	282,613	95.06	0.02
前年度 実績 ②	現年度分	5,681,471	5,548,790	0	132,681	97.66			
	滞納繰越分	291,072	128,865	12,275	149,932	44.27			
	計	5,972,543	5,677,655	12,275	282,613	95.06			
前年度 比較 ①-②	現年度分	△208,871	△211,161	0	2,290	△0.13			
	滞納繰越分	△1,744	11,970	△1,512	△12,202	4.41			
	計	△210,615	△199,191	△1,512	△9,912	0.02			

(注) 表示単位未満四捨五入を基本に、縦計が合計①欄の計と合うよう切捨て・切上げている箇所がある。収納率は、円単位での数値で計算した結果を記載している。

(2) 収納率の推移

令和元年度における現年度分の収納率は、97.53%であり、前年度と比較して0.13ポイントの減となった。また、滞納繰越分の収納率は48.68%であり、前年度と比較して4.41ポイントの増となり、5年連続で前年度を上回った。



(3) 不納欠損の状況

市税及び国民健康保険税の不納欠損は、5年時効完成による消滅が932件・6,756千円、執行停止3年による消滅が271件・1,164千円、合計では1,203件・7,920千円となった。
 市税及び国民健康保険税以外の不納欠損は、430件・2,843千円で、主なものは、介護保険料が395件・2,654千円、水道料金が25件・110千円となった。

2 令和元年度の収納対策の取組

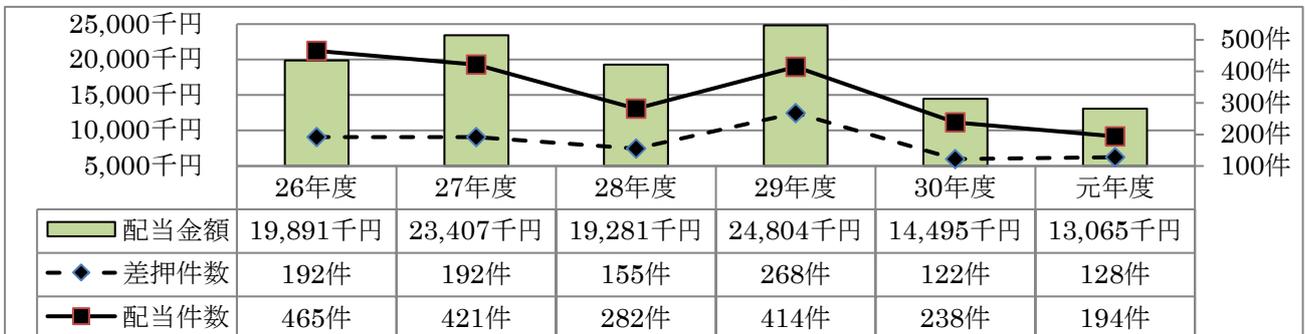
(1) 催告書の共同発送及び臨戸催告の実施

関係課による催告書の共同発送を5月、7月、11月の年3回実施し、その各翌月を徴収強化月間と位置付け、担当部課長等又は応援部課長等と担当者による臨戸催告を実施した。

(2) 滞納処分の状況

最近6年間に於ける差押件数、配当件数及び配当金額は、次の表のとおりである。

滞納処分の推移



(3) その他の収納対策

税務課窓口のテレビ画面やチラシ等の紙面を通じ、納期内納付の啓発活動を行った。
 また、滞納整理の研修会を開催し、スキルアップを図るとともに、関係課で滞納者の生活実態等の情報共有を行いながら、効率的な納付交渉や効果的な滞納処分を進めた。その取り組みの中で税務課と連携し、介護保険料では所得税還付金の差押を執行し、保育料では滞納者の預金調査を行っている。